

2010年3月17日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 新型成田エクスプレス「E259系」の大型液晶案内装置の WiMAXによる情報伝送開始について

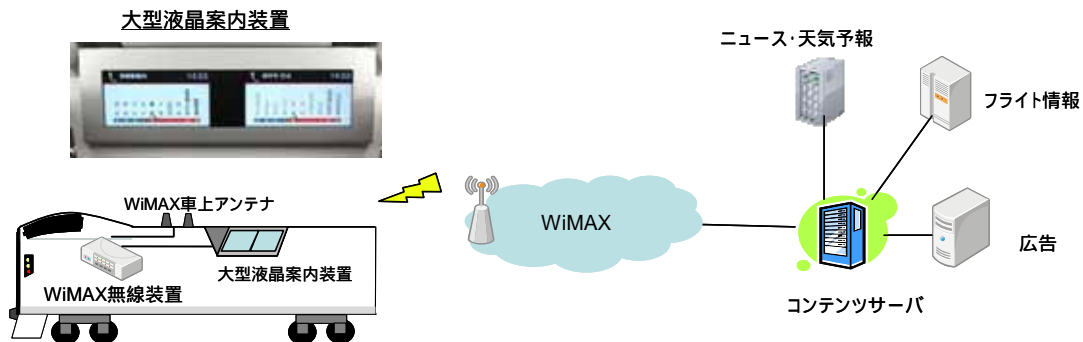
2009年10月1日より営業運転を開始している新型成田エクスプレスの車両において、各車両に設置している大型液晶案内装置の通信にWiMAXを利用した情報伝送を開始いたしました。

WiMAXにより高速走行する車両と地上間で高速な情報伝送が可能になり、動画コンテンツ等の大容量データの伝送がタイムリーかつ低コストにできるようになりました。

新型成田エクスプレスの車両内では、天気予報、ニュース、フライト情報、広告を大型液晶案内装置で表示しています。広告情報を除くコンテンツは、走行中の車両と地上コンテンツサーバ間で携帯電話のデータ通信を利用して配信していました。また広告等動画コンテンツは、データ量が多いことから、タイムリーなデータ配信は困難でした。

このたび、車両と地上コンテンツサーバ間の情報伝送にWiMAXを採用することで、天気予報、ニュース、フライト情報、動画コンテンツについてもタイムリーかつ低コストに配信できるようになりました。

2月初旬より一部の編成で試験的にWiMAXによる情報伝送を開始し、2月末をもって機能の正常性を確認できたことから、順次導入をすすめ、3月11日に全編成のWiMAXによる情報伝送の導入が完了しました。



### 大型液晶案内装置の車上-地上間通信構成

なお京葉線に導入するE233系の情報案内装置においてもWiMAXの採用を予定しております。  
(2009年9月2日にプレスリリースしております。)